平成２６年度

平成２７年２月２４～２５日開催

第12回　あんしんセミナー

IN　摺上亭
大鳥

今回のセミナーでは、４７名の参加をいただき、盛会裏に終了いたしました。会員の方以外にも、お知り合いや友人等の一般の方々もご参加いただきました。「参加するたび新しい出会いがあり楽しいです」等のお声もあり、それぞれが有意義な時間をすごされました。

あんしんセミナー研修Ⅱ「辛いからこそ笑って生きよう」

落語家・東京都町田市議会議員　三遊亭らん丈師匠

現在における日本の状況の話や「日本」が「ジャパン」と言われるようになった話、「辞書」を使った話など、楽しくためになる話のあと落語を行いました。

落語は、「てんしき」という話で、体調のすぐれない和尚さんが医者に往診をしてもらい、医者から「てんしきはありますか？」と問われた和尚さんは、自分が「てんしき」を知らないとは言えず、「あります」と答えてしまい、その「てんしき」の正体をしるために小僧さんをおつかいに出す・・というお話でした。

参加者からは、「講演も落語も笑いながら楽しく、参考になる話を聞く事ができました。」とのお声もいただき、大変好評でした。

あんしんセミナー研修Ⅲ「きもちをかたちに」

桃山房窯　陶芸家　鈴木　徹先生

500グラムの粘土を使って、それぞれの思いを形にしていきました。

友人と次回のセミナーの時にお酒を飲もうと「ぐい呑」を作った方、孫へのプレゼントにしようとかわいいお皿を作った方、お花を生けようと花入れを作った方、本当に様々でした。

後日、出来上がった陶器をお届けしたところ、「夫と自分の出来上がった作品を見て感激、感動しています。プロの陶芸家になった気分、大変嬉しく、素晴らしいと思いました。」とのお声をいただきました。